



MPS 150/190

ユーザーガイド

FOR Motorized Public Speaking



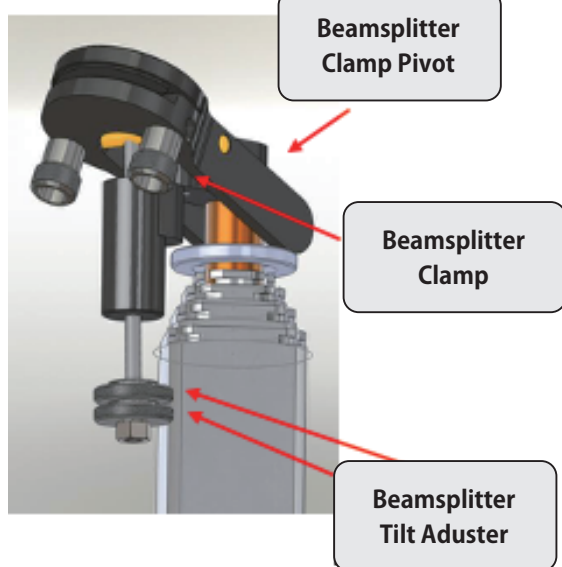
Telescript International
55 Walnut Street, Norwood, NJ 07648
Tel 201-767-6733
email: info@telescript.com
Website: www.telescript.com

TELESCRIPT International

MPS 150 / 190

メカニカル

MPS ガラスクランプ



MPS サイドパネル



設定する

2本の脚を外し、MPSユニットを作業位置に置き、平らで安定した場所に置きます。図1に示すように、下側のつまみネジを使用して、ビームスプリッタークランプを約45度の傾きに調整します。指紋を避けて、ビームスプリッターをクランプの中央に取り付け、ビームスプリッタークランプの2本のネジを締めます。

梱包中

MPSユニットがホームポジションに送られたことを確認し、ビームスプリッターを取り外し、保護のために、ビームスプリッタークランプを水平になるまでねじ込みます。ポールに対して脚を閉じます。

お手入れとメンテナンス

MPSユニットの伸縮セクションは清潔に保ち、へこみや傷がないようにする必要があります。

注：これらのセクションは塗装しないでください。アレンスクリューをポールにねじ込むためにビームスプリッタークランプを締めすぎないでください。これにより、アライメントからポールがねじれる可能性があります。

一般的な

MPSユニットは、10.4インチ、12インチ、15インチ、17インチ、19インチのフラットパネルモニターで動作するように設計されています。これらは、単にケースの上部に置くか、モニターをVESAマウントにスライドさせるだけです。マイクロプロセッサで制御された高さ機能により、特に高さが異なる場合にプレゼンテーションに複数のスピーカーが関与する場合、MPSは不可欠なツールになります。

各スピーカーのリハーサル時にガラスの高さを調整し、コントローラーの数字キーを押してマイクロプロセッサのメモリーに保存することができます。

番号はこの特定のスピーカー専用であり、選択した設定は後で同じ番号キーを押すことで呼び出すことができます。

MPS リモートコントローラ

ローカルで使用する場合、コントローラはポールの側面にある 4 ウェイ「XLR」レンジソケットに接続し、ステージの前面にプレゼンターのさまざまな高さを設定します。

電柱から離れて使用する場合は、4 ウェイの「XLR」レンジプラグに接続された別個の 12V DC 電源が必要です。制御信号は、コントローラの BNC ソケットに差し込まれ、ポールネットワークの BNC ソケットをループスルーする BNC リード線を介してポールに到達します。

コントローラはデフォルトで、ネットワーク上のすべてのポールを 1 回のキーを押すだけで操作します。つまり、キー「1」を押すと、すべての極が位置「1」に移動します。単一のポールをバックステージからメモリロケーションに移動するには、キーボード操作の「Identify (I)」を参照してください。

キーボード操作

数字キーのいずれかを押して離すと、ネットワーク上のすべての極が、メモリに保存されているそのメモリの高さに移動します。

上/下カーソルキーは、ネットワーク上のすべての極、または識別 (I) キーで選択した極を制御できます。



タッチ スクリーン ディスプレイ

精度を高めるための静電容量式タッチスクリーンディスプレイです。

画面はガラスなので、乱用しないでください。

画面には、キーに触覚フィードバックを与えるためのバイブレーターがあります

ディスプレイの一番上の行には、ステータスメッセージが表示されるか、ユーザーからの入力を求めます。

コントローラーが最初に接続されると、ソフトウェアのバージョン番号とソフトウェアの製造日が表示され、少なくとも1つのポールが見つかるまでローカル及びリモートで検索され、テレスクリプトが表示されてからポールのステータスが表示されます。

ディスプレイには、キーパッドの赤い点で表示されているポールが表示されます。ディスプレイは、パッド番号を赤に色分けすることで、ポールが同じ位置にあることを示します。上部のステータスメッセージには、同じ番号またはホームのすべてのポールが表示されます。それらが同じ位置にない場合、ステータスメッセージは各極の位置を通知します。



シアン色のキー：-

矢印キーでポールの垂直位置を制御します。



「C」コピーキーを使用して、BNC ネットワークを介して、格納された高さを1つのポールから別のポールにリモートでコピーできます。

「I」識別キーを使用して、矢印キーと保存機能コントロールのポールを変更し、BNC を制御します。

選択した番号は、選択したパッド番号の黄色のハイライトで表示されます。

注：欠落している極を選択すると、代わりに最低極のデフォルト設定が選択されます。

この時点で他のシアンキーのいずれかを押すことにより、選択をキャンセルすることもできます。

これを行うと、ハンドコントロールは通常の操作に戻ります。

(2回押す) 識別キーを使用すると、選択したポールを保存場所にのみ送信することもできます。

(3回押す) 識別キーを使用すると、単一のポール (識別されている場合) またはすべてのポールをインチ単位の高さに送信することもできます。

「I」と「C」の機能は、高所への送信時以外に何も入力しない場合、5秒後にタイムアウトします。

ステータス行画面メッセージ

これらのメッセージは、コントローラーに接続されているポールの状態をオペレーターに伝えます。

表 示	内 容
Updating Poles!	コントローラーは、ポールに関する情報を更新しています。(コマンドがポールに送信された後に実行されます)
NO Poles Present	現在、ポールは検出されていません (リード線とポールに電力があることを確認してください)。
All Poles @ Home	すべてのポールがホームハイトにあります。
All Poles @ x	すべてのポールは、メモリ x に格納されている高さにあります。
Pole x @ Home	ポール x はホームの高さです。
Pole x @ mem y	ポール x はメモリ y に格納されている高さにあります。
Pole x Moving	ポール x は、格納された高さの間を移動しています。
x Between Mem!	ポール x の中間は、格納された高さの間で停止します。
Pole x STUCK!	ポール x は移動できません (モーターヒューズとポールに障害物がないか確認してください)。
x Lost & Stuck	ポール x がスタックし、格納されている高さの間です。
--- ERROR! ---	通信エラー

4 ピンケーブルを使用してポールに直接差し込む場合。

プラグインされているポールは、上下の矢印キーを使用して調整されます。

数字キーまたはホームキー (H) を押して放すと、ポールはそのキーの保存された場所に移動します。

HOME は、ポートレート形式のガラスクランプの Telescript ビームスプリッターで完全に収納する必要があります。

数字キーを 3 秒間押し続けると、そのキーパッドでポールが現在設定されている高さが保存されます。

HOME キーは変更できません。

BNC ケーブルネットワークを介してポールに接続する場合。

BNC ネットワーク上のカーソルキーは、通常、ネットワーク上のすべてのポールを一緒に制御します。

矢印キーを押すと、ポールが 1 ステップ移動してから停止し、コントローラーのステータスラインに「Hold to Move」と表示されます。その後、一時停止後、キーが放されるまで連続的に動き始め、「Release to Stop」はコントローラーのステータス行に表示されるようになりました。

番号が小さい方のポールがマスターです。

(したがって、開始する前にこれがどのポールであるかを知っておくと便利です)

キーを放すと、マスターポールの高さが他のポールに移り、マスターに合わせて移動します。

上記の「I」（識別）キーを使用して、矢印キーを使用して位置を保存することで、単ポールを制御できます。
識別「I」キーを押して、必要なポールを選択して、ポールを選択します（上記の識別を参照）
上/下矢印キーは、選択したポールをゆっくり上下に動かして、高さを選択できるようにします。
矢印キーを押すと、選択したポール番号と速度設定がステータスラインに表示されます。

希望の高さが達成されたら、この高さを保存する数値キーを押し続けます。

キーが押されている間、ディスプレイは「Release to Move」と「Hold to Store」の間で点滅します。
3秒間押し続ける必要があります。
3秒後、「n Stored」が表示されます。nは、押しているキーです。

これにより、選択したポールのメモリに高さが保存されたことを確認できます。
識別されたポールを保管場所へ送信できます。
「I」を2回押した後、有効な高さキーを押します。

「I」を3回押すと、選択された（識別された）ポールをインチ（インチ）の高さまで、または何も選択されていない場合（識別された）すべてのポールを送信できます。



表示された数字パッドを使用して、20～82インチの範囲で高さを入力します。

間違いを修正するためのバックスペースキーがあります。



入力された高さでエンターキーをタッチします。

1つまたは複数のポールが選択した高さに移動します。

制限を上回るまたは下回る高さを入力すると、ポールは最大または最小の位置に移動します。

「X」を押して通常のハンドコントロール操作に戻ります

「C」コピーキーを使用して、保存されたメモリを1つのポールから、別のポールメモリからコピーできます。

「C」を押すと、コピー元のポールが求められます。（ネットワーク上に存在する必要があります）

コピー元のポールのキーを押します（赤い点は、ポールの存在を示します）。

保存された高さをコピーするデスティネーションポールの入力を求められます。コピー先のポールのキーを押します（赤い点は、ポールが存在する場合に役立ちます）。

保存された高さをコピーする先のメモリを尋ねられます。

コピー先のメモリのキーを押します。

コピーしたときに、メモリロケーションキーを押すと、両方のポールがそのメモリに移動するように指示されます。ソースポールが既に存在するため、デスティネーションポールのみが移動します。

推奨される使用方法は、最後のポールで巻き上げられたハンドコントロール用のステージ上の電源リード線、および最後のポールに差し込まれた 15 フィートの BNC ケーブルを使用することです。

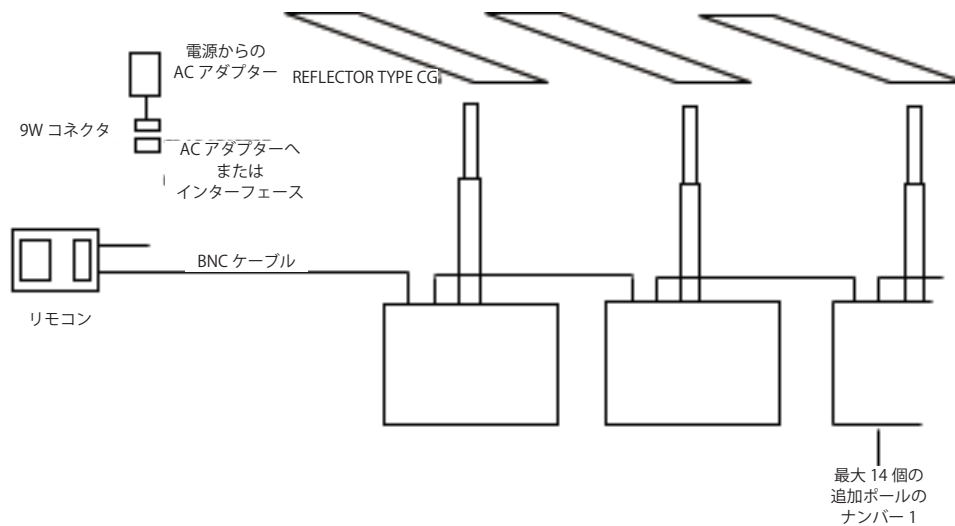
これらのリードを使用してコントローラーに電力を供給し、ステージ上のポールと話します。

この方法の利点は、スピーカーに 1 つのポールを設定し、そのポールから次のポールまでの高さを簡単にコピーできることです。

「I」を使用して調整するポールを選択し、矢印キーを使用して調整し、キーを 3 秒間押し続けて **位置を保存**し、「C」キーを使用して調整したポール（ソース）から位置をコピーします もう一方のポール（目的地）はもちろん、記憶位置を今保存したものと同じにします。

これで、目的のポールが一致した位置に移動します。

MPS 接続レイアウト図



MPS ユニットにはビデオループスルーはありません。



Mains input: 110-240v ac.

Fuses

モーターが切れた場合、モーターヒューズはモーターとインラインになり、ポールはポールがスタックしたと報告します。

モニター TFT パネルなどの最大負荷 60 ワットに 12V を供給する 4 ウェイソケットとインラインの 12v OUT。

ピン配列：ピン 1 グラウンド、ピン 2 およびピン 3 未使用、ピン 4 +12v DC。

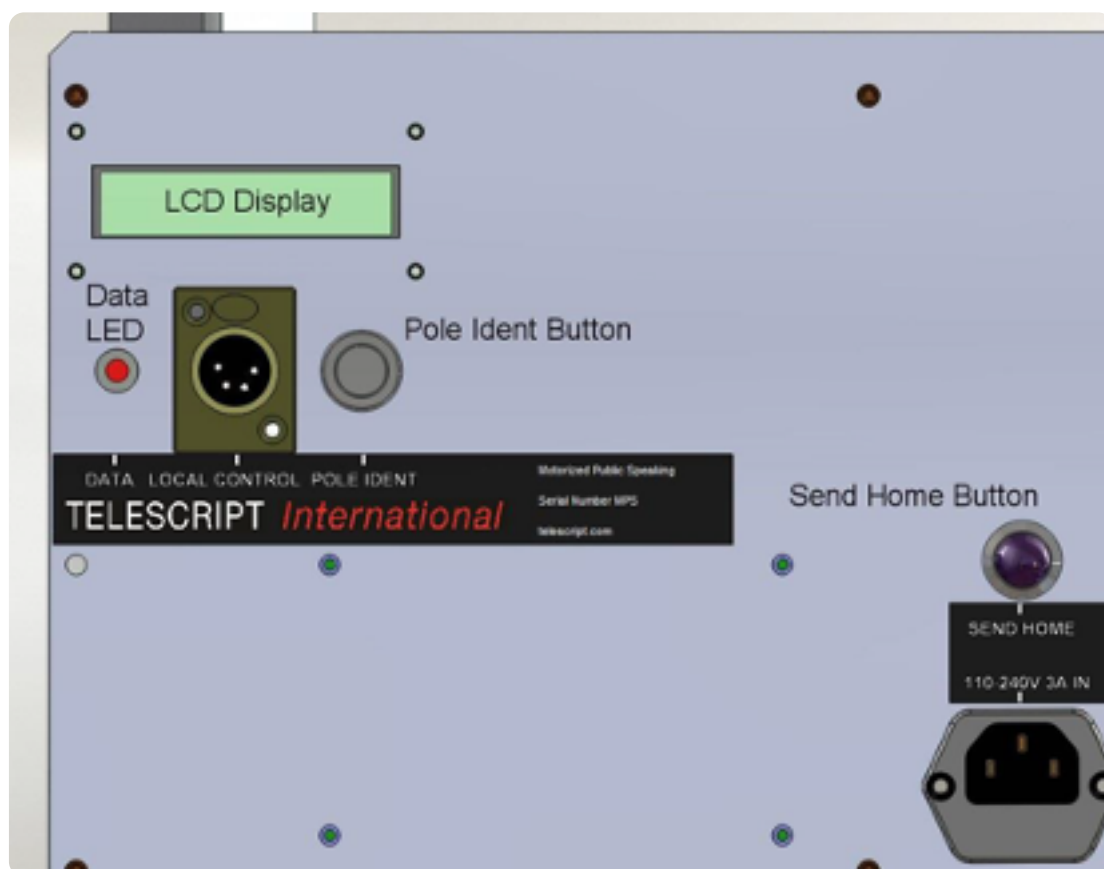
内部 5v 回路とインラインの 5v INT。

Local Control Socket

ローカル制御ソケット

高さを設定するために極を局所的に制御します。

ポール ID (ポール ID、シルバーボタン) は、ポール ID (番号) を変更します。



ネットワークループスルー

ネットワークループスルーは、BNC ケーブルを介してリモートコントロールバックステージからポールを制御します。

外部コントローラーが検出されない場合、ホームボタンを送信すると、ポールがホームにドロップします。

ポールが残っていて、コントローラーが荷下ろしで梱包されている場合に便利です。



液晶ディスプレイ

通常、ポール ID 番号を示します。

BNC ネットワークを介してステージ上のポールをコピーまたは移動する際に役立つので、どちらがどれであるかに注意する必要があります。

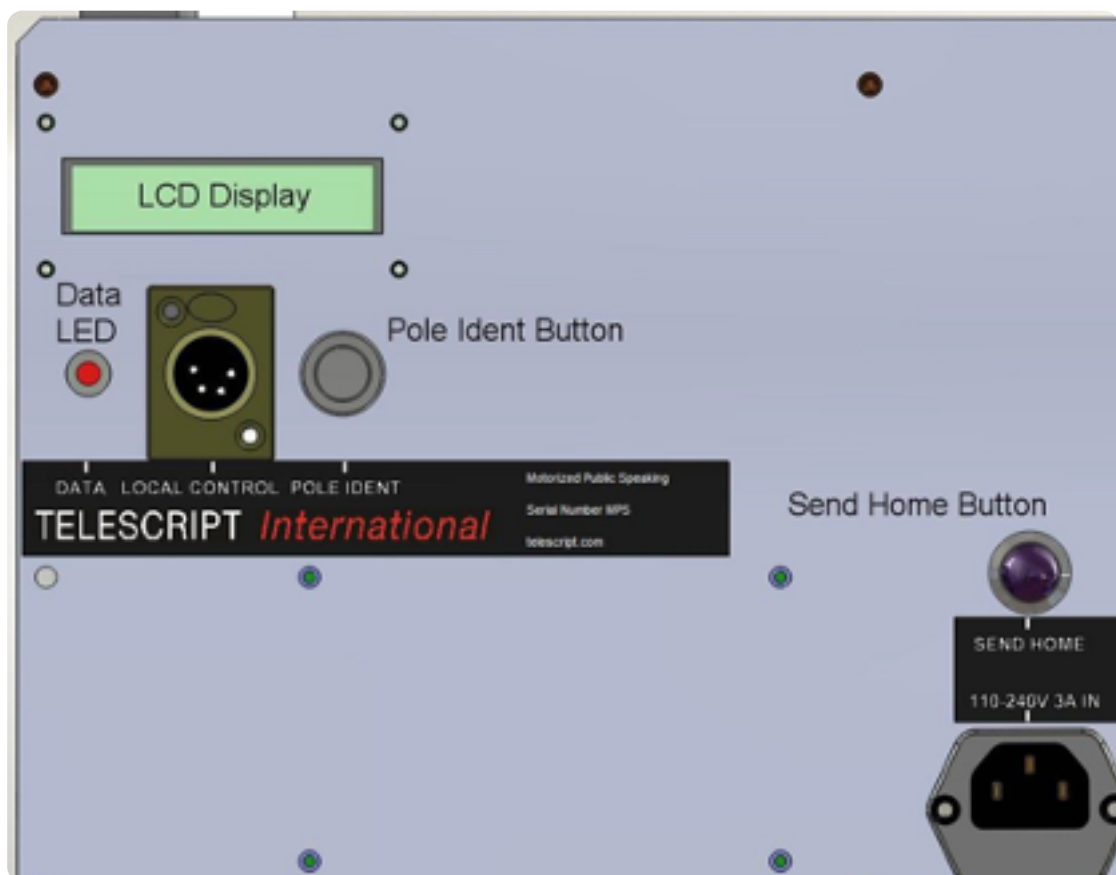
コントローラーがプラグインされていない場合、LCD には「No Comms」とポール ID 番号が表示されます。

電源投入時に、LCD に Telescript、ソフトウェアバージョン、およびソフトウェアの製造日が表示されます。

「Pole Stuck !」 ポールは移動できません。

モーターヒューズとポールに障害物がないか確認します。

ビームスプリッターが横向きに取り付けられていない、または取り付けられていないときに、ポールがホームに送られたときにも表示されます。



トラブルシューティング

ハンドコントロールがコントロール BNC の端にあるときにポールを見つけれないが、ローカルに接続されているときに機能する場合は、次の手順を試してください。

まず、ビデオフィードを送信して、バックステージに戻る長い BNC をテストします。

これで問題なければ、次の手順を実行します。

疑わしい場合は交換してください。

最初のリンクの短い BNC を外して、デイジーチェーン接続されたポールを分離します。

これにより、最初のポールの故障が解決した場合、以下を確認してください。

1) ポールには異なるポール番号がありますか？ そうでない場合は、それらを異なるものにします。

2) ポール間のショートリンク BNC をテストします。

これに短絡がある場合、それらはすべて同じライン上にあり、リンクされたすべての極に通信なしと表示されるため、バックステージからの信号を短絡します。

開回路の場合、2 番目以降のポールのみがハンドコントロールに応答せず、LCD 画面に「No Comms」と表示されます。

疑わしい場合は交換してください。

3) 信号はこのケーブルに沿って両方向に送信されるため、制御信号が送信される BNC ケーブルはビデオ分配アンプに通さないでください。

4) 制御信号が送信される BNC ケーブルは、制御データに使用されるため、外側のスクリーンが接地されてはなりません（フローティングである必要があります）。

これは、すべてのケーブルがほぼ同じ長さで、ケーブルケーブルの外側がコントロール BNC の外側に接触しているケーブルルームが使用されると、偶然に発生する可能性があります。

これを防ぐには、コントロール BNC の画面に絶縁テープを巻き付けます。

5) 最後の極は、最後の制御 BNC コネクタで終端してはなりません。

ポールのセットアップ

これらの手順は、エンジニアリング保守での使用のみを目的としています。疑わしい場合は、Telescript International に電話してアドバイスを求めてください。

ポール調整

ポールセクションが固着している場合、以下を確認してください。

ポールセクションに汚染物質がありませんか？

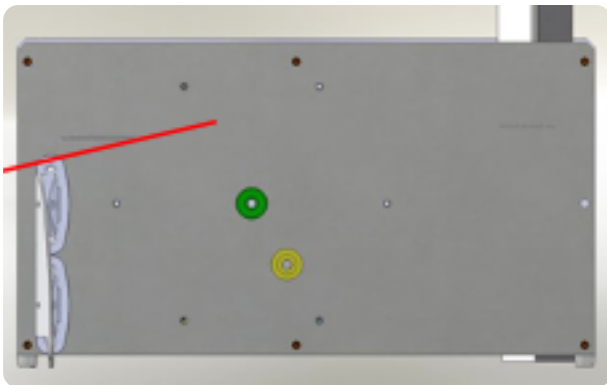
クラッチ調整

クラッチにより、ポールが動かなくなった場合、モーターのヒューズを飛ばさずにモーターの回転を続けることができます。

クラッチがきつすぎると、極が動けなくなるとモーターのヒューズが切れることがあります。マイクロコントローラーソフトウェアには、ポールがスタックした場合の損傷を防ぐためのタイムアウトもあります。

クラッチが緩すぎると、スリップし、ポールが最大の高さまで上昇せず、家に送ったときにガラスを平らに折りたたむことができません。

カバーの側面にあるクラッチ調整アレンネジを使用して、カバーを取り外さずにクラッチ調整を実行できます。下図を参照してください。



クラッチが完全な高さでちょうどグリップするまで、アレンネジを均等に締めます。その後、さらにすべてを4分の1回転締めます。

次に、ガラスのビームスプリッターを縦向きに取り付け、ガラスの傾きを45度に調整します。

動いているガラスの近くで作業しているときにクラッチを調整する際には注意が必要です。

メモリの場所から、ポールをホームに送信します。ポールがほぼ完全に引き込まれ、ガラスが平らに引き下げられます。クラッチが滑り、ガラスが平らにならない場合は、ネジを1/8回転締めます。ポールをメモリに送信してから、再びホームに送信します。ガラスが平らになるまで繰り返します。

ポールがビームスプリッターを平らに駆動するのに十分に収縮しない場合は、「ホーム調整」セクションを参照してください。その後、上記を繰り返します。

ガラスを取り外します。記憶の場所からポールのホームを送ります。ポールがほぼ完全に収縮し、ソフトウェアタイムアウトが操作を中止するまで、クラッチが数秒間スリップするはずですが、ポールディスプレイに「ポールスタック」と表示されます。これは、クラッチを締めすぎていることを証明しています。クラッチが滑らない場合は、モーターのヒューズが切れたり、少なくとも緊張している可能性があります。ポールを使用する前にヒューズを交換してください。ネジを1/4回転緩めて、上記を繰り返します。

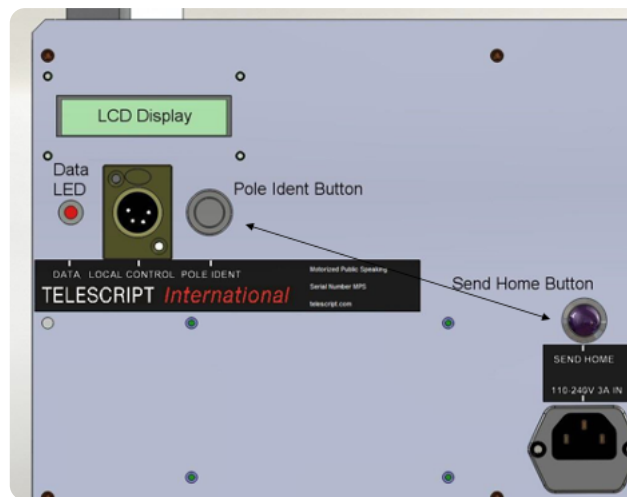
HOME 調整

ホームポジションは、ポールが完全に引き込まれたときです。ホーム位置では、ガラス製ビームスプリッターが縦向きでビームスプリッタークランプに取り付けられている場合、ビームスプリッタークランプは平らに折りたたまれます。

ホームの位置はリセットする必要はありませんが、以下の手順に従ってください。

移動中のガラスの近くで作業しているときにホームポジションを調整する前にガラスを取り外してください。

HOME を調整するには、マイナスドライバーが必要です。



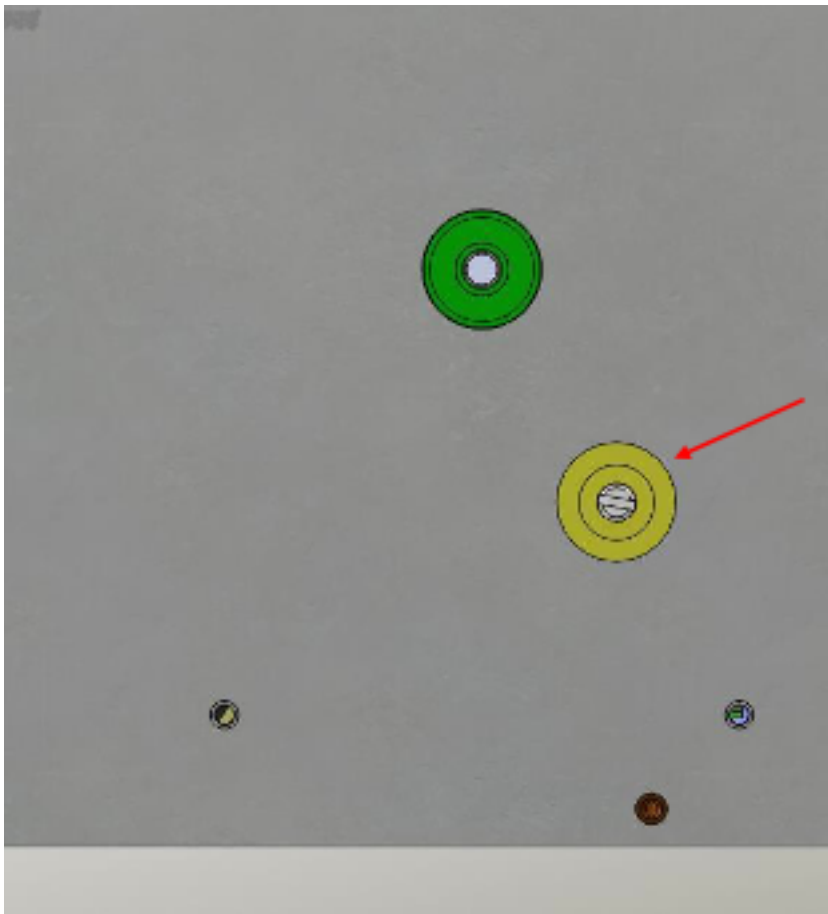
これを行うには、傾斜調整を使用してポールヘッドセットを平らにする必要があります。

AC 電源コードを取り外します。AC 電源コードを交換し、すぐに「Send Home」ボタンと「Pole Ident」ボタンを同時に押し続けます。

これは、テレスクリプト、バージョン、および日付情報が画面に表示されるまで実行する必要があります。

「データ LED」は 7 秒間赤く点灯します。これは、ポールが下降していることを示します。

この時点の画面には、イーサネット MAC コードが 16 進数で表示されます。



7秒後、「データ LED」が緑色になります。

これは、ポールが安全に調整できることを示しています。

画面には、ターゲット（Tgtがあるはずの場所）とポールの実際の位置（Rslt）が表示されます。

それらが1のカウント内で一致する場合、それは正しいため、調整しないでください。

一致しない場合は、マイナスドライバーをポールの反対側の調整穴に挿入する必要があります。

RsltがTgtに一致するように、ドライバーを中央に回して、ドライバーを何らかの方法で回転させます。

完了したら、AC電源を取り外します。

ホームを正しく設定して、ポールの電源を入れ、その機能をテストします。

この設定プロセス中に、ポールはそのメモリをいくつかの有用な工場出荷時のデフォルト値にプログラムします。

ポジション1で約53インチから始まり、約2～3インチのステップで上昇します。

ポジション14は22インチにほぼ完全に格納されていますが、ガラスが上になっています。

位置15は、全高82インチに設定されています。

もちろん、これらはすべて通常の使用中に上書きできます。

ポールが通常の操作モードのときに、識別されたポールの保存された高さを表示できます。

「|」を3回押すと、床からガラスクランプピボットまでの15の格納された高さがセンチメートル単位で表示されます。

キーボードに戻るにはどこでも画面をタッチします。

電源電圧が存在するため、カバーを取り外した状態でポールを操作する場合は注意が必要です。回転ドラムも同様です。疑わしい場合は、Telescriptにお問い合わせください。